
【結果まとめ】 就職氷河期世代の就業等の実態や意識に関する調査

2023年に実施したインターネット調査（2024年3月取りまとめ）（[shugyozittaihoukokusho.pdf](#)）について、男性・女性、年代、雇用形態、年収等の属性別に、更に詳細な分析を行った。

2025年12月

株式会社クロス・マーケティング

目次

P 2～ 調査概要

P 3～ サマリー

p5～ 生活満足度について

p8～ 正規の職員・従業員以外の仕事の経験について

p10～ 就職又は転職、就業形態の変更の意向について

p13～ 行政支援施策に対するニーズについて

p18～ 習得したいと思う知識・技術等の具体的な内容について



調査概要

調査概要（定量調査）

2023年に実施した以下のインターネット調査（2024年3月取りまとめ）（[shugyozittaihoukokusho.pdf](#)）について、男性・女性、年代、雇用形態、年収等の属性別に、更に詳細な分析を行った。

サンプル調査の結果をそのままクロス表にて分析したもの。したがって、母集団推定を行っていないことから、サンプル平均は実社会の平均とは異なる点（失業率、無業率など）に注意されたい。具体的には、男性全体や女性全体の平均値は、実態の平均にくらべて失業・無業状態の者が多い影響が現れる。

<p>調査背景・目的</p>	<p>政府は、「就職氷河期世代支援プログラム」等に基づき、就職氷河期世代の就労や社会参加の支援に集中的に取り組んでおり、その実施にあたっては、就職氷河期世代の就業等実態やニーズを把握することが重要である。</p> <p>本調査では、就職氷河期世代の就業等の実態やニーズに関して、よりきめ細かな把握を行うため、就職氷河期世代を中心とした就業の実態や仕事・生活に対する満足度、今後の就業に関する意識等を把握し、当該世代に向けた行政支援施策ニーズ等についてアンケート調査を行い、就職氷河期世代が置かれている実情等を踏まえた、効果的・効率的な政策対応に繋げることを目的とする。</p>
<p>調査対象者 ・ サンプルサイズ (割付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクリーニング調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定なし ・ 本調査：8,400サンプル <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国 ・ 男女 ・ 25～54歳 ・ スクリーニング調査回答者のうち、下記の割付に応じて回収 <p>割付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セグメント 1（本調査対象① 正規雇用労働者／25－34歳）： 800サンプル ・ セグメント 2（本調査対象① 正規雇用労働者／35－44歳）： 800サンプル ・ セグメント 3（本調査対象① 正規雇用労働者／45－54歳）： 800サンプル ・ セグメント 4（本調査対象② 不本意非正規雇用労働者／25－34歳）： 600サンプル ・ セグメント 5（本調査対象② 不本意非正規雇用労働者／35－44歳）： 600サンプル ・ セグメント 6（本調査対象② 不本意非正規雇用労働者／45－54歳）： 600サンプル ・ セグメント 7（本調査対象③ 不本意でない非正規雇用労働者・失業者・無業者／25－34歳）：1,400サンプル ・ セグメント 8（本調査対象③ 不本意でない非正規雇用労働者・失業者・無業者／35－44歳）：1,400サンプル ・ セグメント 9（本調査対象③ 不本意でない非正規雇用労働者・失業者・無業者／45－54歳）：1,400サンプル <p>(※ 1) 本調査では25～34歳と、就職氷河期世代を含む35～44歳及び45～54歳にセグメント分けを行った。</p> <p>(※ 2) 不本意非正規雇用労働者とは、スクリーニング調査において、現在の就業形態を選択している最大の理由が「正規の職員・従業員の仕事がないから」と回答した非正規雇用労働者。</p>
<p>調査手法</p>	<p>インターネット定量調査（クロス・マーケティング アンケートモニター）</p>
<p>調査期間</p>	<p>2023年8月25日（金）～9月5日（火）</p>



サマリー

生活満足度について（p6、p7）

Q11 あなたは、現在の生活に満足していますか。（単一回答）

（就業形態別）

- 「不本意非正規雇用労働者」と「失業者・無業者」は、男女共に、年代を問わず、生活満足度が低い。
- 「不本意ではない非正規雇用労働者」セグメントの満足度は「正規労働者」と大差ない水準。

（年代別）

- 「不本意非正規雇用労働者」と「失業者・無業者」では、男女共に、40代が「大いに不満である」と回答した割合が最も高くなっている。

（男女別）

- 全体傾向として、女性よりも男性の方が、生活満足度が低くなっている。特に、40代・50代の男性の「失業者・無業者」層が、同年代の女性と比べて、生活満足度が低い。
- 「不本意ではない非正規雇用労働者」の生活満足度を男女別に比較すると、女性の方が生活満足度が高い。

（含意）

- 就職氷河期世代の中でも「不本意非正規雇用労働者」と「失業者・無業者」の生活満足度が低い。したがって、就業支援、リ・スキリング等を通じたスキルアップ支援、正規雇用化の推進といった就業面での取組が重要。

生活満足度 男性×就業形態別

n=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

		n=	満足計					満足計 (%)
			大いに満足である	やや満足である	どちらともいえない	やや不満である	大いに不満である	
男性全体		4,190	4.2	17.5	33.4	21.7	23.2	21.7
男性30代	正規労働者 x 200万未満	28	14.3	17.9	28.6	21.4	17.9	32.1
	正規労働者 x 200万-400万	136	2.9	25.0	39.0	22.1	11.0	27.9
	正規労働者 x 400万円以上	285	6.7	34.0	42.5	13.7	3.2	40.7
	不本意でない非正規雇用労働者	190	4.2	20.0	37.9	25.8	12.1	24.2
	不本意非正規雇用労働者	258	2.7	12.4	30.6	30.6	23.6	15.1
	失業者・無業者	443	3.2	7.9	35.7	18.3	35.0	11.1
男性40代	正規労働者 x 200万未満	29	10.3	20.7	37.9	10.3	20.7	31.0
	正規労働者 x 200万-400万	88	2.3	21.6	44.3	20.5	11.4	23.9
	正規労働者 x 400万円以上	312	4.8	34.0	37.5	17.0	6.7	38.8
	不本意でない非正規雇用労働者	145	9.0	17.9	34.5	24.8	13.8	26.9
	不本意非正規雇用労働者	420	2.1	11.0	30.2	29.0	27.6	13.1
	失業者・無業者	497	2.2	7.0	25.4	23.5	41.9	9.3
男性50代	正規労働者 x 200万未満	10	10.0	10.0	60.0	10.0	10.0	20.0
	正規労働者 x 200万-400万	57	3.5	21.1	43.9	21.1	10.5	24.6
	正規労働者 x 400万円以上	216	6.9	39.8	29.6	14.8	8.8	46.8
	不本意でない非正規雇用労働者	58	5.2	22.4	39.7	20.7	12.1	27.6
	不本意非正規雇用労働者	251	2.0	12.4	29.5	28.7	27.5	14.3
	失業者・無業者	363	2.5	9.4	29.8	20.4	38.0	11.8

※n=30未満は参考値のため灰色。

生活満足度 女性×就業形態別

		n=	満足計					満足計 (%)
			大いに満足である	やや満足である	どちらともいえない	やや不満である	大いに不満である	
女性全体		4,141	4.8	22.9	32.8	20.3	19.3	27.7
女性30代	正規労働者 x 200万未満	57	7.0	15.8	40.4	15.8	21.1	22.8
	正規労働者 x 200万-400万	172	2.3	32.6	34.9	19.8	10.5	34.9
	正規労働者 x 400万円以上	174	9.2	42.0	30.5	13.8	4.6	51.1
	不本意でない非正規雇用労働者	260	5.8	27.7	32.7	18.5	15.4	33.5
	不本意非正規雇用労働者	338	2.7	18.9	29.9	28.1	20.4	21.6
	失業者・無業者	579	5.2	11.1	31.8	24.7	27.3	16.2
女性40代	正規労働者 x 200万未満	50	8.0	24.0	36.0	10.0	22.0	32.0
	正規労働者 x 200万-400万	162	4.9	32.1	31.5	21.6	9.9	37.0
	正規労働者 x 400万円以上	170	7.6	45.9	25.9	12.4	8.2	53.5
	不本意でない非正規雇用労働者	216	5.6	30.6	40.7	14.4	8.8	36.1
	不本意非正規雇用労働者	221	2.3	18.1	34.8	22.6	22.2	20.4
	失業者・無業者	492	5.7	13.2	29.5	20.1	31.5	18.9
女性50代	正規労働者 x 200万未満	17	5.9	17.6	29.4	35.3	11.8	23.5
	正規労働者 x 200万-400万	64	4.7	29.7	32.8	18.8	14.1	34.4
	正規労働者 x 400万円以上	89	7.9	42.7	39.3	9.0	1.1	50.6
	不本意でない非正規雇用労働者	95	3.2	43.2	28.4	12.6	12.6	46.3
	不本意非正規雇用労働者	92	1.1	22.8	28.3	26.1	21.7	23.9
	失業者・無業者	259	1.9	16.6	31.3	20.8	29.3	18.5

※n=30未満は参考値のため灰色。

正規の職員・従業員以外の仕事の経験について（p9）

Q20 あなたは、学生時を除き、正規の職員・従業員以外の仕事の経験をしましたか。経験した場合、すべて合わせてどのくらいの期間で経験しましたか。（単一回答）

（現在の就業形態別）

- 正規労働者は、男女共に、年齢に関わらず、正規以外の仕事の経験がない者が多い傾向にある。
- 30代の非正規雇用労働者は、男女共に、学生時を除いた正規以外の仕事の経験年数が5年未満の者が多いが、40代、50代の不本意非正規雇用労働者は、同経験が長期間（5年以上）となっている割合が高まる傾向にある。
- 現在の年収400万円以上の正規労働者のうち、過去に正規以外の仕事の経験がある者をみると、どの年代でも、正規以外の仕事の経験が5年以上の割合の方が5年未満の割合よりも多い。
- 失業・無業者は、30代、40代は正規以外の仕事の経験が5年未満の者が多く、50代前半になると、同経験が5年以上の割合が多い傾向にある。

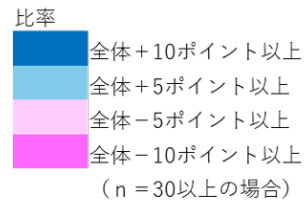
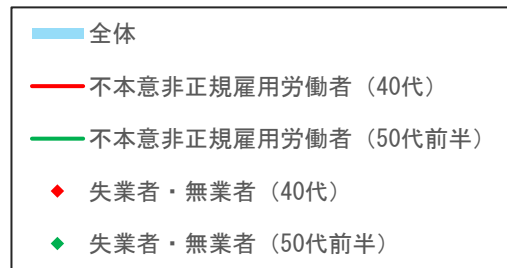
（男女別）

- 男性に比べ、女性の方が、「正規の職員・従業員以外の仕事の経験はない」割合が低い傾向にある。
（50代前半の年収200万～400万円の正規雇用労働者セグメントを除く）

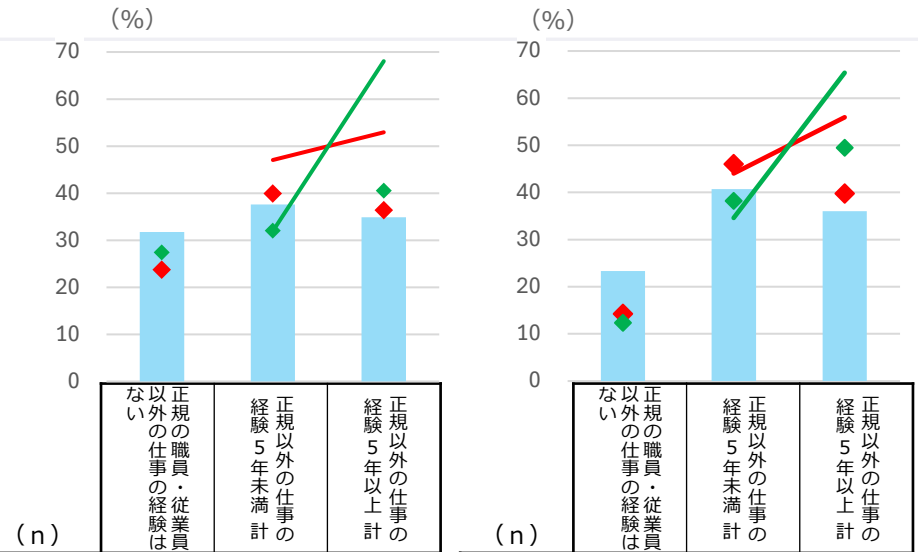
（含意）

- 就職氷河期世代の非正規雇用労働者は、加齢に伴い、長期にわたって非正規で雇用され続けてきた方が多くなっている。
- 年収400万円以上の正規労働者のうち、過去に正規以外の仕事の経験がある者では、同経験が長期間（5年以上）の者の割合が高いことから、非正規雇用労働であっても、長く働き続けることで、それまでの経験を活かし好条件の正規労働者に転換できる可能性がある。

正規の職員・従業員以外の仕事の経験



※ n = 30未満は参考値のため灰色



		(n)	男性			女性		
			経験はない	正規以外の仕事の経験5年未満計	正規以外の仕事の経験5年以上計	経験はない	正規以外の仕事の経験5年未満計	正規以外の仕事の経験5年以上計
全体		2830	31.7	37.6	34.9	23.3	40.7	36.0
30代	正規労働者×年収200万未満	28	64.3	14.3	21.4	43.9	31.6	24.6
	正規労働者×年収200万～400万円	136	51.5	26.5	22.1	46.5	23.8	29.7
	正規労働者×年収400万円以上	285	57.9	17.5	24.6	57.5	17.8	24.7
	不本意でない非正規雇用労働者	92	—	73.9	26.1	—	66.0	34.0
	不本意非正規雇用労働者	114	—	71.1	28.9	—	65.3	34.7
	失業者・無業者	130	26.9	50.8	22.3	18.9	53.6	27.6
40代	正規労働者×年収200万未満	29	37.9	24.1	37.9	38.0	16.0	46.0
	正規労働者×年収200万～400万円	88	39.8	36.4	23.9	31.5	21.6	46.9
	正規労働者×年収400万円以上	312	59.3	14.1	26.6	42.9	24.1	32.9
	不本意でない非正規雇用労働者	81	—	55.6	44.4	—	51.9	48.1
	不本意非正規雇用労働者	255	—	47.1	52.9	—	44.1	55.9
	失業者・無業者	253	23.7	39.9	36.4	14.2	46.0	39.7
50代前半	正規労働者×年収200万未満	10	50.0	10.0	40.0	23.5	47.1	29.4
	正規労働者×年収200万～400万円	57	35.1	31.6	33.3	39.1	21.9	39.1
	正規労働者×年収400万円以上	216	69.9	11.6	18.5	51.7	14.6	33.7
	不本意でない非正規雇用労働者	48	—	41.7	58.3	—	37.9	62.1
	不本意非正規雇用労働者	216	—	31.9	68.1	—	34.6	65.4
	失業者・無業者	259	27.4	32.0	40.5	12.4	38.2	49.5

Q20 あなたは、学生時を除き、正規の職員・従業員以外の仕事の経験をしましたか。経験した場合、すべて合わせてどのくらいの期間で経験しましたか。(単一回答)

就職又は転職、就業形態の変更の意向について（p11, p12）

Q23 あなたは、今後、就職または転職、あるいは、現在の勤務先での就業形態の変更（キャリアチェンジ）を考えていますか。以下から最も近いものを1つお知らせください。（単一回答）

- 現在、求職活動（就職または転職のための活動）をしている
- 現在、求職活動はしていないが、具体的に就職または転職を考えている
- 将来的に就職または転職を考えている
- 現在、具体的に勤務先での就業形態の変更を考えている
- 将来的に、勤務先での就業形態の変更を考えている
- 就職または転職、あるいは、勤務先での就業形態の変更を考えていない
- わからない

（就業形態別）

- 不本意非正規雇用者のうち、転職や就業形態の変更を考えていないと回答する者の割合は、男女共に、年代が上がるにつれて増加している。
- 失業者・無業者は、男女共に、どの年代でも「わからない」と回答する割合が他の属性に比べて高い。

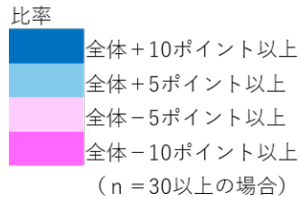
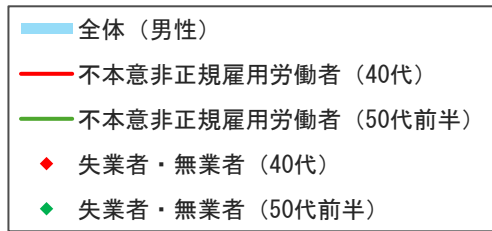
（男女別）

- 不本意非正規雇用者のうち、女性の方が、男性に比べて、転職や就業形態の変更を考えていないと回答する者の割合がどの年代でも高くなっている。また、現在、求職活動をしている者と就職・転職・就業形態の変更を具体的に考えている者の割合を合計して比較すると、男性の方が、女性に比べて、求職活動等をしている者や具体的に考えている者の割合が高い。
- 女性の失業者・無業者は、年代が上がるにつれて、求職活動をしている又は就職を考えていると回答する割合が減り、転職や就業形態の変更を考えていないと回答する者の割合が高くなっている。

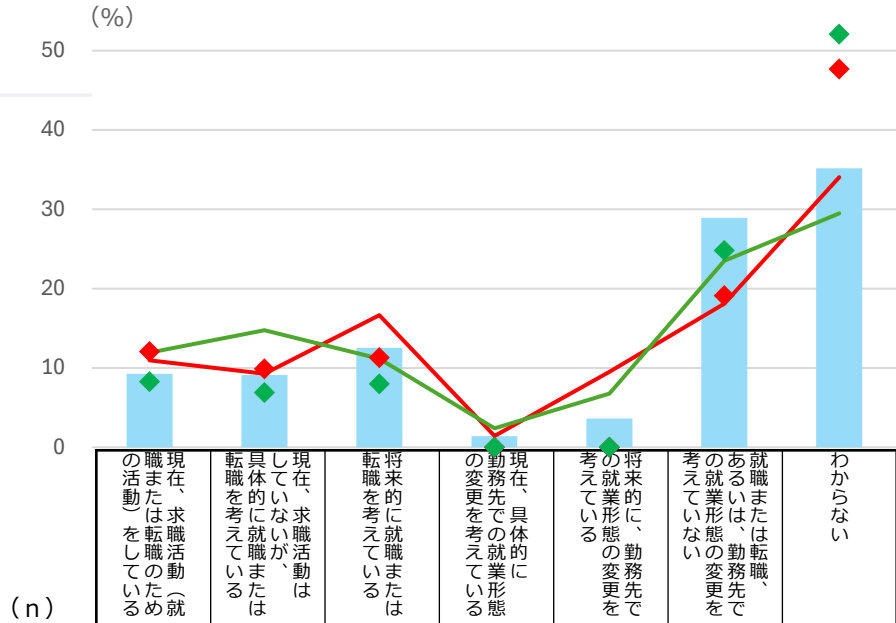
（含意）

- 失業者・無業者は、就職又は転職、就業形態の変更の希望が「わからない」と回答する方が多い。具体的な行動を決断するに足る情報等が不足している可能性も否めず、個々人に寄り添った伴走支援により、就業につなげていくことが求められる。
- 不本意非正規雇用労働者は、年代が上がるにつれて、転職や就業形態の変更を考えていないと回答する者の割合が高くなる。従って、早いうちから、転職やキャリアチェンジに向けた具体的な行動が取れるよう、支援を行うことが効果的だと考えられる。また、現在の就業形態が不本意にもかかわらず転職や就業形態の変更を考えていない理由を調べ、政策的なアプローチを考えることが必要である。

就職又は転職、就業形態の変更の意向 男性の就業形態別



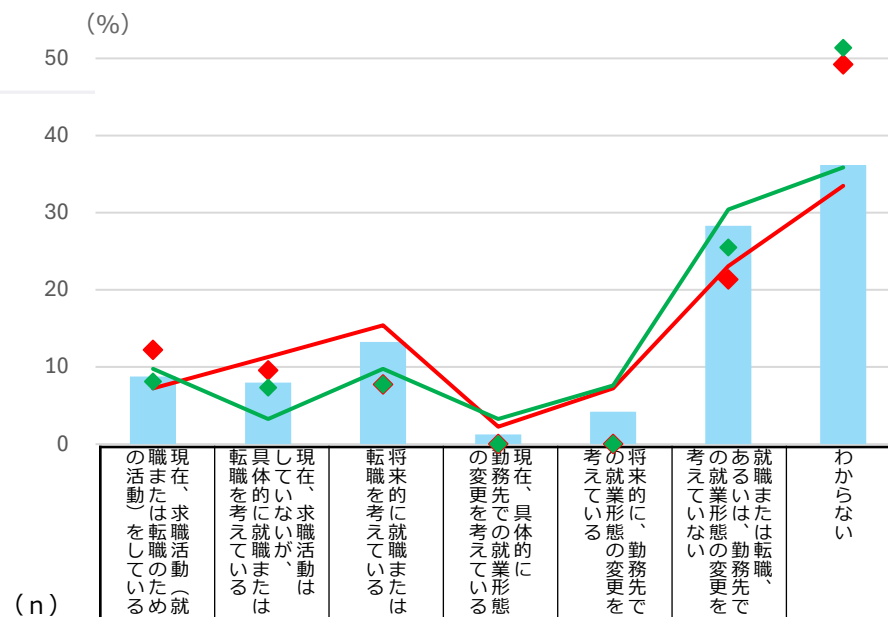
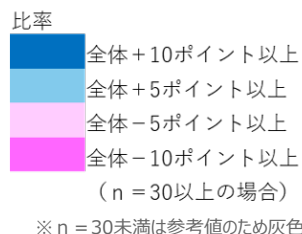
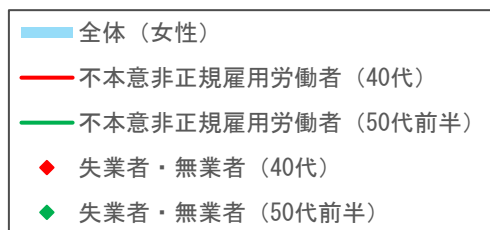
※ n = 30未満は参考値のため灰色



		(n)	現在、求職活動へ就職または転職を考えている	現在、求職活動はしていないが、具体的に就職または転職を考えている	将来的に就職または転職を考えている	現在、具体的に勤務先での就業形態の変更を考えている	将来的に、勤務先での就業形態の変更を考えている	就職または転職、あるいは勤務先での就業形態の変更を考えていない	わからない
全体（男性）		4190	9.3	9.1	12.6	1.4	3.6	28.9	35.2
30代	正規労働者×年収200万未満	28	7.1	10.7	7.1	0.0	0.0	28.6	46.4
	正規労働者×年収200万～400万円	136	8.1	12.5	16.2	2.2	0.7	36.8	23.5
	正規労働者×年収400万円以上	285	7.7	8.1	14.4	1.8	4.6	47.4	16.1
	不本意でない非正規雇用労働者	190	2.6	12.6	13.2	3.2	5.8	30.0	32.6
	不本意非正規雇用労働者	258	12.0	15.1	17.4	1.9	4.7	13.6	35.3
	失業者・無業者	443	12.2	9.0	11.5	0.0	0.0	20.8	46.5
40代	正規労働者×年収200万未満	29	3.4	10.3	3.4	6.9	0.0	44.8	31.0
	正規労働者×年収200万～400万円	88	4.5	5.7	15.9	0.0	5.7	38.6	29.5
	正規労働者×年収400万円以上	312	6.1	4.8	14.1	1.6	4.8	48.1	20.5
	不本意でない非正規雇用労働者	145	4.1	8.3	9.0	2.8	4.1	31.7	40.0
	不本意非正規雇用労働者	420	11.0	9.3	16.7	1.4	9.5	18.1	34.0
	失業者・無業者	497	12.1	9.9	11.3	0.0	0.0	19.1	47.7
50代前半	正規労働者×年収200万未満	10	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	10.0
	正規労働者×年収200万～400万円	57	10.5	7.0	3.5	0.0	0.0	47.4	31.6
	正規労働者×年収400万円以上	216	4.6	5.6	11.1	3.2	4.2	55.6	15.7
	不本意でない非正規雇用労働者	58	1.7	10.3	12.1	3.4	3.4	39.7	29.3
	不本意非正規雇用労働者	251	12.0	14.7	11.2	2.4	6.8	23.5	29.5
	失業者・無業者	363	8.3	6.9	8.0	0.0	0.0	24.8	52.1

Q23 あなたは、今後、就職または転職、あるいは、現在の勤務先での就業形態の変更（キャリアチェンジ）を考えていますか。以下から最も近いものを1つお知らせください。（単一回答）

就職又は転職、就業形態の変更の意向 女性の就業形態別



		(n)	現在、求職活動（就職または転職のため）	現在、求職活動はしていないが、具体的には就職または転職を考えている	将来的に就職または転職を考えている	現在、具体的に勤務先での就業形態の変更を考えている	将来的に、勤務先での就業形態の変更を考えている	就職または転職、あるいは勤務先での就業形態の変更を考えていない	わからない
全体（女性）		4141	8.8	8.0	13.3	1.3	4.2	28.3	36.2
30代	正規労働者×年収200万未満	57	5.3	5.3	19.3	3.5	7.0	40.4	19.3
	正規労働者×年収200万～400万円	172	8.1	8.1	15.1	1.7	6.4	34.3	26.2
	正規労働者×年収400万円以上	174	8.0	8.0	15.5	2.3	6.3	44.8	14.9
	不本意でない非正規雇用労働者	260	7.3	9.6	14.6	2.7	6.2	30.4	29.2
	不本意非正規雇用労働者	338	8.6	10.4	25.7	2.1	8.6	18.6	26.0
	失業者・無業者	579	12.4	8.8	10.5	0.0	0.0	14.3	53.9
40代	正規労働者×年収200万未満	50	6.0	8.0	10.0	0.0	2.0	42.0	32.0
	正規労働者×年収200万～400万円	162	3.7	6.8	11.1	1.2	7.4	54.3	15.4
	正規労働者×年収400万円以上	170	3.5	5.3	16.5	0.6	3.5	50.0	20.6
	不本意でない非正規雇用労働者	216	2.8	2.8	12.5	2.3	7.9	32.9	38.9
	不本意非正規雇用労働者	221	7.2	11.3	15.4	2.3	7.2	23.1	33.5
	失業者・無業者	492	12.2	9.6	7.7	0.0	0.0	21.3	49.2
50代前半	正規労働者×年収200万未満	17	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	41.2	52.9
	正規労働者×年収200万～400万円	64	9.4	6.3	9.4	3.1	3.1	46.9	21.9
	正規労働者×年収400万円以上	89	0.0	2.2	13.5	0.0	4.5	62.9	16.9
	不本意でない非正規雇用労働者	95	6.3	4.2	7.4	0.0	3.2	51.6	27.4
	不本意非正規雇用労働者	92	9.8	3.3	9.8	3.3	7.6	30.4	35.9
	失業者・無業者	259	8.1	7.3	7.7	0.0	0.0	25.5	51.4

Q23 あなたは、今後、就職または転職、あるいは、現在の勤務先での就業形態の変更（キャリアチェンジ）を考えていますか。以下から最も近いものを1つお知らせください。（単一回答）

行政支援施策に対するニーズについて（p14、p15）

Q33 以下の行政機関の支援策について、あなたは利用したいと思いますか。それぞれお知らせください。（各単一回答）

- 職業紹介（自分の希望する条件に対応した求人情報の紹介）
- 就職活動に関する相談窓口（就職活動の進め方、面接対策等の相談）
- キャリアコンサルティング（ご自身の将来のキャリア形成に関する専門家との相談）
- 企業説明会・面接会（複数の企業と求職者の参加によるマッチング等）
- 就職後の継続支援（就職後に仕事で生じた悩み等に関する相談）
- 仕事に役立つスキル（例えばパソコン操作等）を習得できる職業訓練
- 地方における生活や仕事に関する情報提供
- 大学等におけるリカレント教育
- ご自身と同じような状況にある方々と安心して話をする事等ができる居場所
- 生活の困りごとに関する相談窓口

（就業形態別）

- 男女共に、不本意非正規雇用労働者は他の雇用形態に比べて、支援ニーズが高い傾向にある。
- 男女共に、失業者・無業者は他の雇用形態に比べて、支援ニーズが低い傾向にある。

（年代別）

- 男女共に、若年層の方が、支援ニーズが高くなる傾向にある。

（男女別）

- 女性の方が、同属性の男性に比べて、支援ニーズが高い傾向にある。

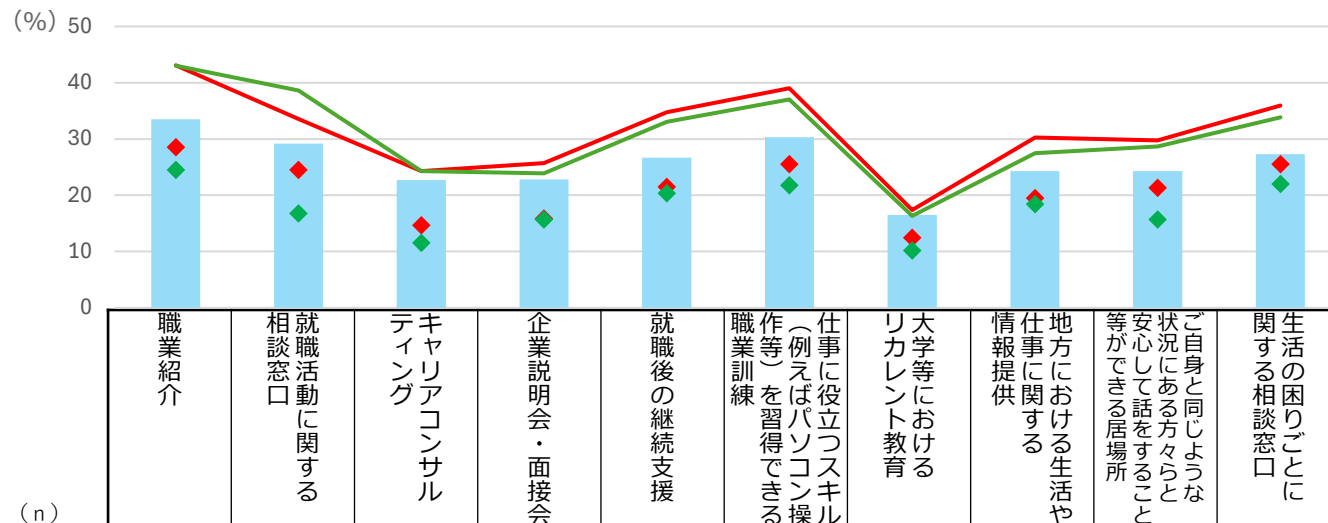
（行政支援施策別）

- ニーズが高い施策は、①「職業紹介」、②「仕事に役立つスキルを習得できる職業訓練」、③「就職活動に関する相談窓口」、④「生活の困りごとに関する相談窓口」、⑤「就業後の継続支援」、⑥「ご自身と同じような状況にある方々と安心して話をする事等ができる居場所」となっている。

（含意）

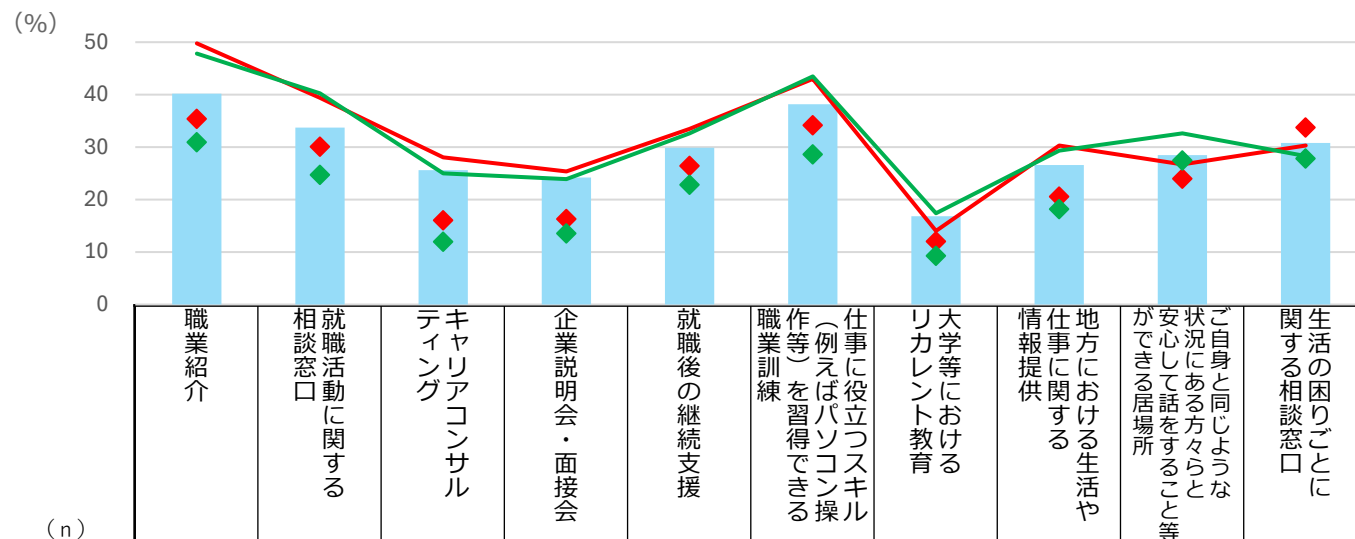
- 就職氷河期世代の属性別に、抱えている課題や行政支援施策の利用意向が異なることから、就業形態や性別・年代別のニーズに沿った行政支援施策の提案・提供を行うとともに、支援施策の主な対象に応じた効果的な広報を実施することにより、効果的な支援につなげていく必要がある。

支援施策の利用意向有の割合 男性の就業形態別



		(n)	職業紹介	就職活動に関する相談窓口	キャリアコンサルティング	企業説明会・面接会	就職後の継続支援	職業訓練（例えばパソコン操作等）を習得できる	仕事に役立つスキル（例えばパソコン操作等）を習得できる	大学等におけるリカレント教育	情報提供	地方における生活や仕事に関する情報提供	等ができる居場所	ご自身と同じような状況にある方々と安心して話をすること	生活の困りごとに関する相談窓口
全体（男性）		4190	33.5	29.2	22.7	22.8	26.7	30.3	16.5	24.3	24.3	24.3	24.3	24.3	27.3
30代	正規労働者×年収200万円未満	28	28.6	21.4	17.9	14.3	21.4	25.0	7.1	10.7	17.9	17.9	17.9	17.9	21.4
	正規労働者×年収200万～400万円	136	33.8	27.9	28.7	27.9	27.2	29.4	20.6	27.9	20.6	27.9	20.6	27.9	25.7
	正規労働者×年収400万円以上	285	40.0	34.4	35.4	31.6	31.2	36.8	28.8	30.5	33.0	30.5	33.0	33.0	31.6
	不本意でない非正規雇用労働者	190	32.1	33.2	22.1	24.2	26.8	28.9	15.8	22.6	24.7	22.6	24.7	24.7	25.8
	不本意非正規雇用労働者	258	42.2	38.4	29.5	26.7	34.5	36.8	14.3	26.4	27.9	26.4	27.9	27.9	34.9
	失業者・無業者	443	24.4	22.3	16.0	17.2	20.5	22.3	11.7	18.5	19.2	18.5	19.2	19.2	19.9
40代	正規労働者×年収200万円未満	29	24.1	17.2	20.7	17.2	10.3	27.6	10.3	20.7	13.8	20.7	13.8	20.7	17.2
	正規労働者×年収200万～400万円	88	37.5	34.1	20.5	17.0	29.5	35.2	15.9	27.3	26.1	27.3	26.1	27.3	21.6
	正規労働者×年収400万円以上	312	34.9	33.0	31.4	28.5	25.6	33.7	23.4	26.9	26.9	26.9	26.9	26.9	27.6
	不本意でない非正規雇用労働者	145	29.7	24.8	18.6	19.3	22.1	25.5	13.1	20.7	22.8	20.7	22.8	22.8	30.3
	不本意非正規雇用労働者	420	43.1	33.6	24.3	25.7	34.8	39.0	17.4	30.2	29.8	30.2	29.8	29.8	36.0
	失業者・無業者	497	28.6	24.5	14.7	15.9	21.5	25.6	12.5	19.5	21.3	19.5	21.3	21.3	25.6
50代前半	正規労働者×年収200万円未満	10	30.0	30.0	20.0	20.0	30.0	20.0	20.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
	正規労働者×年収200万～400万円	57	33.3	26.3	17.5	12.3	21.1	26.3	8.8	5.3	8.8	5.3	8.8	8.8	19.3
	正規労働者×年収400万円以上	216	27.8	25.0	23.1	19.4	21.8	25.9	16.7	24.5	20.4	24.5	20.4	24.5	20.4
	不本意でない非正規雇用労働者	58	29.3	22.4	19.0	19.0	22.4	24.1	10.3	24.1	19.0	24.1	19.0	24.1	20.7
	不本意非正規雇用労働者	251	43.0	38.6	24.3	23.9	33.1	37.1	16.3	27.5	28.7	27.5	28.7	28.7	33.9
	失業者・無業者	363	24.5	16.8	11.6	15.7	20.4	21.8	10.2	18.5	15.7	18.5	15.7	15.7	22.0

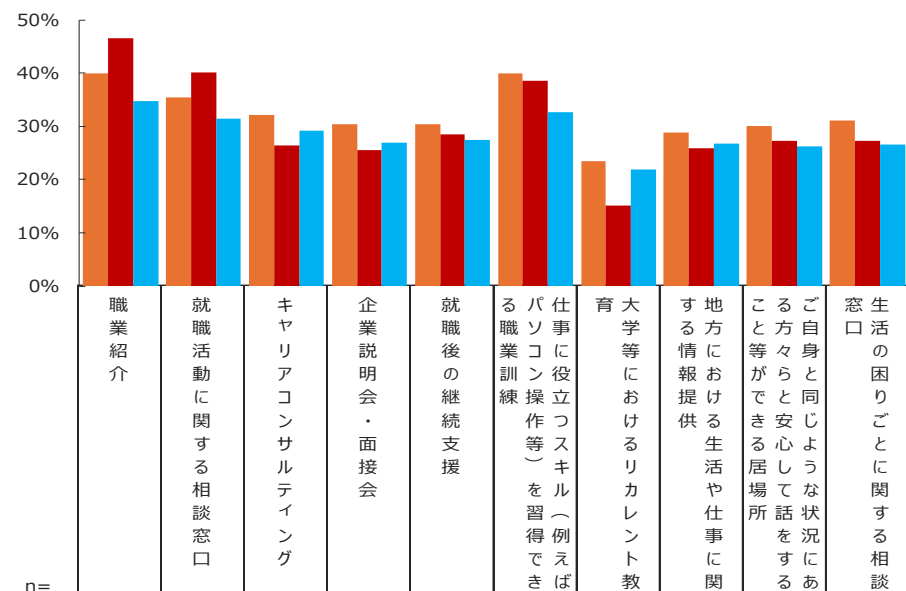
支援施策の利用意向有の割合 女性の就業形態別



		(n)	職業紹介	就職活動に関する相談窓口	キャリアコンサルティング	企業説明会・面接会	就職後の継続支援	職業訓練 （例えばパソコン操作等）を習得できる	大学等における リカレント教育	仕事に関する 情報提供	地方における生活や 仕事に関する 情報提供	ご自身と同じような 状況にある方々と 安心して話をすること等 ができる居場所	生活の困りごと に関する相談窓口
全体（女性）		4141	40.2	33.7	25.6	24.2	29.9	38.2	16.8	26.6	28.5	30.8	
30代	正規労働者×年収200万円未満	57	38.6	29.8	29.8	24.6	24.6	40.4	17.5	29.8	33.3	33.3	
	正規労働者×年収200万～400万円	172	45.3	40.7	33.7	29.1	34.3	41.9	20.3	27.9	33.1	36.0	
	正規労働者×年収400万円以上	174	44.3	40.2	45.4	41.4	35.1	40.2	33.3	35.6	36.8	37.9	
	不本意でない非正規雇用労働者	260	43.5	34.2	26.5	24.6	27.3	40.4	15.4	26.9	25.8	27.3	
	不本意非正規雇用労働者	338	53.8	43.8	37.6	32.5	45.0	52.7	18.0	36.7	35.2	36.1	
	失業者・無業者	579	34.0	26.1	20.2	17.4	28.2	32.1	13.5	23.3	26.4	31.6	
40代	正規労働者×年収200万円未満	50	38.0	38.0	22.0	22.0	30.0	38.0	22.0	28.0	24.0	30.0	
	正規労働者×年収200万～400万円	162	35.8	31.5	22.8	25.3	27.8	42.0	19.1	29.0	22.2	26.5	
	正規労働者×年収400万円以上	170	38.8	33.5	34.1	30.6	30.0	40.6	24.1	27.1	31.8	29.4	
	不本意でない非正規雇用労働者	216	38.0	30.1	20.8	18.5	25.9	35.6	11.6	24.5	24.1	24.5	
	不本意非正規雇用労働者	221	49.8	39.4	28.1	25.3	33.5	43.0	14.0	30.3	26.7	30.3	
	失業者・無業者	492	35.4	30.1	16.1	16.3	26.4	34.1	12.0	20.5	24.0	33.7	
50代前半	正規労働者×年収200万円未満	17	35.3	17.6	17.6	17.6	29.4	23.5	17.6	17.6	29.4	23.5	
	正規労働者×年収200万～400万円	64	42.2	34.4	15.6	25.0	23.4	35.9	9.4	20.3	25.0	25.0	
	正規労働者×年収400万円以上	89	31.5	24.7	25.8	22.5	22.5	34.8	23.6	22.5	20.2	20.2	
	不本意でない非正規雇用労働者	95	38.9	30.5	17.9	16.8	18.9	31.6	16.8	15.8	24.2	18.9	
	不本意非正規雇用労働者	92	47.8	40.2	25.0	23.9	32.6	43.5	17.4	29.3	32.6	28.3	
	失業者・無業者	259	30.9	24.7	12.0	13.5	22.8	28.6	9.3	18.1	27.4	27.8	

(参考) 正規の職員・従業員を辞めた女性のニーズについて (辞めた理由別)

- 男女共に、「業務以外の賃金・労働条件・通勤・人間関係などの不満から」辞めた方が最も多い。この属性のニーズについては、女性は「職業紹介」、「職業訓練」が、男性は「就職後の継続支援」が、それぞれ同性の正規の職員・従業員と比べて高い。
- 女性の結婚・出産による離職者は、男性とは対比はできないが、女性の正規の職員・従業員と比べると、ブランクからの復帰に向けた「職業紹介」や「就職活動に関する相談窓口」の利用意向が高い一方、「キャリアコンサルティング」や「大学等におけるリカレント教育」といったキャリアの再設計や長期的な能力開発の利用意向が特に低い。
- 男性と比べると、正規・非正規共に、女性の方が全体的に利用意向は高い。特に、キャリアアップ志向のためや、会社の将来性への不満・会社都合による離職者は、全体的に男女差が大きくなっている。



男女で10ポイント以上差がある項目
 男女で7ポイント以上差がある項目
 ※ n = 30未満は参考値のため灰色

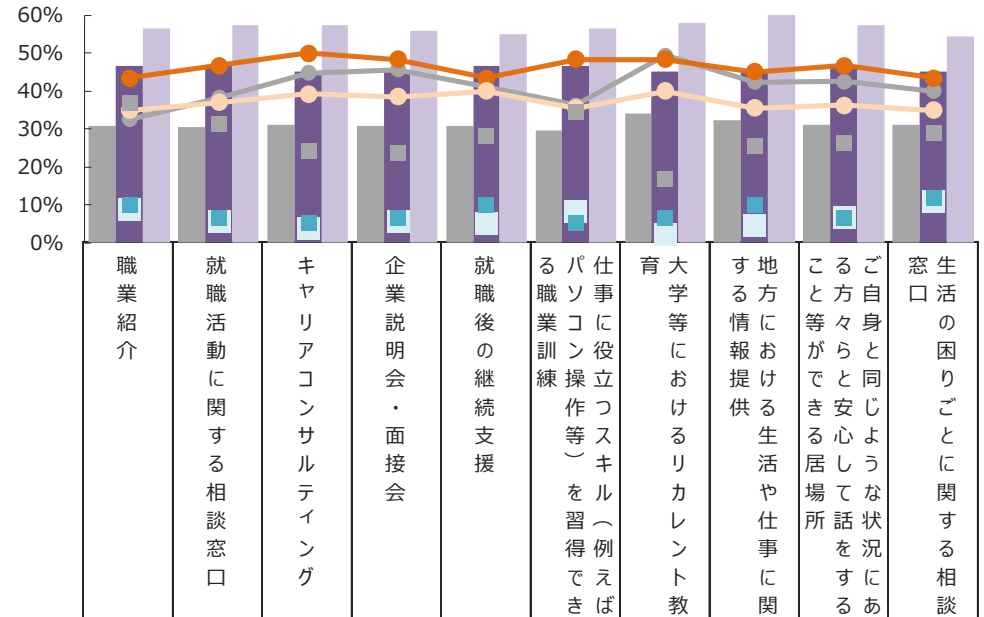
正規の職員・従業員 (女性)		n=	職業紹介	就職活動に関する相談窓口	キャリアコンサルティング	企業説明会・面接会	就職後の継続支援	職業訓練	仕事に役立つスキル(例えばパソコン操作等)を習得できる	大学等におけるリカレント教育	地方における生活や仕事に関する情報提供	ご自身と同じような状況にあることができる居場所	生活の困りごとに関する相談
		1,114	39.9	35.5	32.0	30.4	30.3	39.9	23.5	28.9	30.0	31.1	
正規の職員・従業員を辞めた最大の理由	キャリアアップ志向のため	79	40.5	40.5	43.0	30.4	31.6	40.5	13.9	26.6	29.1	25.3	
	業務内容と自分の能力・志向との不一致	139	38.8	33.8	23.7	23.0	30.2	38.8	17.3	27.3	30.2	30.9	
	業務上求められる能力や責任の負担が大きすぎた	129	48.8	39.5	28.7	24.0	43.4	46.5	15.5	31.8	38.0	43.4	
	業務以外の賃金・労働条件・通勤・人間関係などの不満から	410	44.9	38.5	26.8	24.4	32.2	44.6	15.9	29.5	29.0	31.2	
	会社の将来性への不満・もしくは、会社都合	121	48.8	45.5	32.2	29.8	34.7	42.1	24.8	33.1	29.8	31.4	
	結婚・出産のため	239	46.4	40.2	26.4	25.5	28.5	38.5	15.1	25.9	27.2	27.2	
	その他の自分の都合	326	47.2	39.0	28.2	28.5	36.5	44.8	16.3	31.9	35.6	36.8	
正規の職員・従業員 (男性)		1,276	34.8	31.5	29.2	26.9	27.5	32.7	21.9	26.8	26.2	26.6	
正規の職員・従業員を辞めた最大の理由	キャリアアップ志向のため	74	37.8	29.7	27.0	25.7	28.4	33.8	17.6	28.4	28.4	28.4	
	業務内容と自分の能力・志向との不一致	150	38.0	26.7	18.7	29.3	23.3	30.0	18.0	27.3	22.7	27.3	
	業務上求められる能力や責任の負担が大きすぎた	176	36.9	34.1	24.4	24.4	33.5	32.4	17.0	29.5	27.8	35.8	
	業務以外の賃金・労働条件・通勤・人間関係などの不満から	388	41.0	35.3	26.0	24.5	32.2	35.3	15.7	28.1	26.3	31.2	
	会社の将来性への不満・もしくは、会社都合	205	37.6	32.2	20.0	22.4	27.8	34.1	15.1	27.3	28.8	33.2	
	結婚・出産のため	3	100.0	66.7	66.7	100.0	100.0	66.7	66.7	100.0	100.0	100.0	
	その他の自分の都合	311	43.1	35.7	28.3	27.0	35.4	42.1	17.7	28.9	33.4	37.9	

Q22 あなたが正規の職員・従業員として働くことを辞めた理由として、最もあてはまるものを1つだけお知らせください。(単一回答)

Q33 以下の行政機関の支援策について、あなたは利用したいと思いますか。それぞれお知らせください。(各単一回答)

(参考) 長期無業者のニーズについて

- ・ 長期無業者（＝一度も就業経験がない者）は、行政の支援策について、「利用したい」と回答する割合が全体平均に比べて低く、「わからない」と回答する割合が全体平均に比べて高い。
- ・ 男性の40代は「わからない」と回答する割合が高くなっており、男性の50代は「利用したくない」と回答する割合が高くなっている。
- ・ 30代・40代の女性は、同年代の男性に比べて行政の支援策の利用意向が比較的高いが、50代の女性の利用意向は、50代の男性よりも低くなっている項目が多い。



		n=	職業紹介	就職活動に関する相談窓口	キャリアコンサルティング	企業説明会・面接会	就職後の継続支援	職業訓練	仕事に役立つスキル（例えばパソコン操作等）を習得できる居場所	大学等におけるリカレント教育	地方における生活や仕事に関する情報提供	ご自身と同じような状況にある方々と安心して話をする機会	窓口の困りごとに関する相談
全体	全体 利用意向あり	8,400	36.8	31.4	24.1	23.5	28.2	34.2	16.7	25.4	26.3	29.0	
	全体 利用意向なし		32.5	38.2	44.7	45.6	40.9	36.2	49.4	42.4	42.5	40.0	
	全体 利用意向わからない		30.7	30.4	31.1	30.9	30.9	29.6	34.0	32.2	31.1	31.0	
長期無業者 性年代別	長期無業者×男性30代 利用意向あり	209	12.9	13.9	9.1	10.5	12.9	12.4	8.6	12.0	12.0	10.0	
	長期無業者×男性30代 利用意向なし		36.4	37.8	40.7	40.7	37.8	39.7	42.1	38.8	38.8	37.8	
	長期無業者×男性30代 利用意向わからない		50.7	48.3	50.2	48.8	49.3	47.8	49.3	49.3	49.3	52.2	
	長期無業者×男性40代 利用意向あり	138	8.7	5.8	3.6	5.8	5.1	8.0	2.2	4.3	6.5	10.9	
	長期無業者×男性40代 利用意向なし		34.8	37.0	39.1	38.4	39.9	35.5	39.9	35.5	36.2	34.8	
	長期無業者×男性40代 利用意向わからない		56.5	57.2	57.2	55.8	55.1	56.5	58.0	60.1	57.2	54.3	
	長期無業者×男性50代前半 利用意向あり	60	10.0	6.7	5.0	6.7	10.0	5.0	6.7	10.0	6.7	11.7	
	長期無業者×男性50代前半 利用意向なし		43.3	46.7	50.0	48.3	43.3	48.3	48.3	45.0	46.7	43.3	
	長期無業者×男性50代前半 利用意向わからない		46.7	46.7	45.0	45.0	46.7	46.7	45.0	45.0	46.7	45.0	
	長期無業者×女性30代 利用意向あり	218	19.7	16.5	11.9	9.6	16.5	19.3	8.3	14.7	19.7	21.6	
	長期無業者×女性30代 利用意向なし		29.4	33.5	37.2	42.7	31.7	32.6	42.7	34.9	32.6	31.2	
	長期無業者×女性30代 利用意向わからない		50.9	50.0	50.9	47.7	51.8	48.2	49.1	50.5	47.7	47.2	
	長期無業者×女性40代 利用意向あり	99	15.2	13.1	7.1	5.1	10.1	15.2	4.0	7.1	10.1	20.2	
	長期無業者×女性40代 利用意向なし		36.4	41.4	46.5	48.5	43.4	37.4	45.5	44.4	43.4	33.3	
	長期無業者×女性40代 利用意向わからない		48.5	45.5	46.5	46.5	46.5	47.5	50.5	48.5	46.5	46.5	
長期無業者×女性50代前半 利用意向あり	33	6.1	9.1	6.1	3.0	6.1	-	3.0	3.0	9.1	9.1		
長期無業者×女性50代前半 利用意向なし		39.4	33.3	42.4	48.5	42.4	45.5	42.4	42.4	36.4	39.4		
長期無業者×女性50代前半 利用意向わからない		54.5	57.6	51.5	48.5	51.5	54.5	54.5	54.5	54.5	51.5		

Q33 以下の行政機関の支援策について、あなたは利用したいと思いますか。それぞれお知らせください。（各単一回答）

※構成比は端数処理の都合上、合計は必ずしも100%とはなりません。

習得したいと思う知識・技術等の具体的な内容について（p19、p20）

Q34 あなたが習得したいと思う知識・技能等の具体的な内容として、あてはまると思うものを最大3つまでお知らせください。（複数回答）

- 仕事をする上での基本的な心構えやビジネスの基礎知識の習得
- コミュニケーション能力を高めるための講座・訓練
- パソコン等やソフトウェアの基礎的な操作方法に関する知識・技能の習得
- システム開発、プログラミング等の専門的な情報技術に関する知識・技能の習得
- 経理・財務に関する知識・技能の習得
- 語学・国際化対応能力を高めるための講座・訓練
- その他の専門的な知識・技能で仕事に関連したものの習得
- 仕事に関連した資格の習得を目指した講座・訓練
- その他
- わからない

（就業形態別）

- 不本意非正規雇用労働者、失業者・無業者は、「パソコン等やソフトウェアの基礎的な操作方法に関する知識・技能の習得」、「仕事に関連した資格の習得を目指した講座・訓練」のニーズが高い。

（男女別）

- 男性は、女性に比べて、専門的な情報技術に関する知識・技術の習得のニーズが高い。
- 女性は、男性に比べて、「パソコン等やソフトウェアの基礎的な操作方法に関する知識・技能の習得」のニーズが高い。

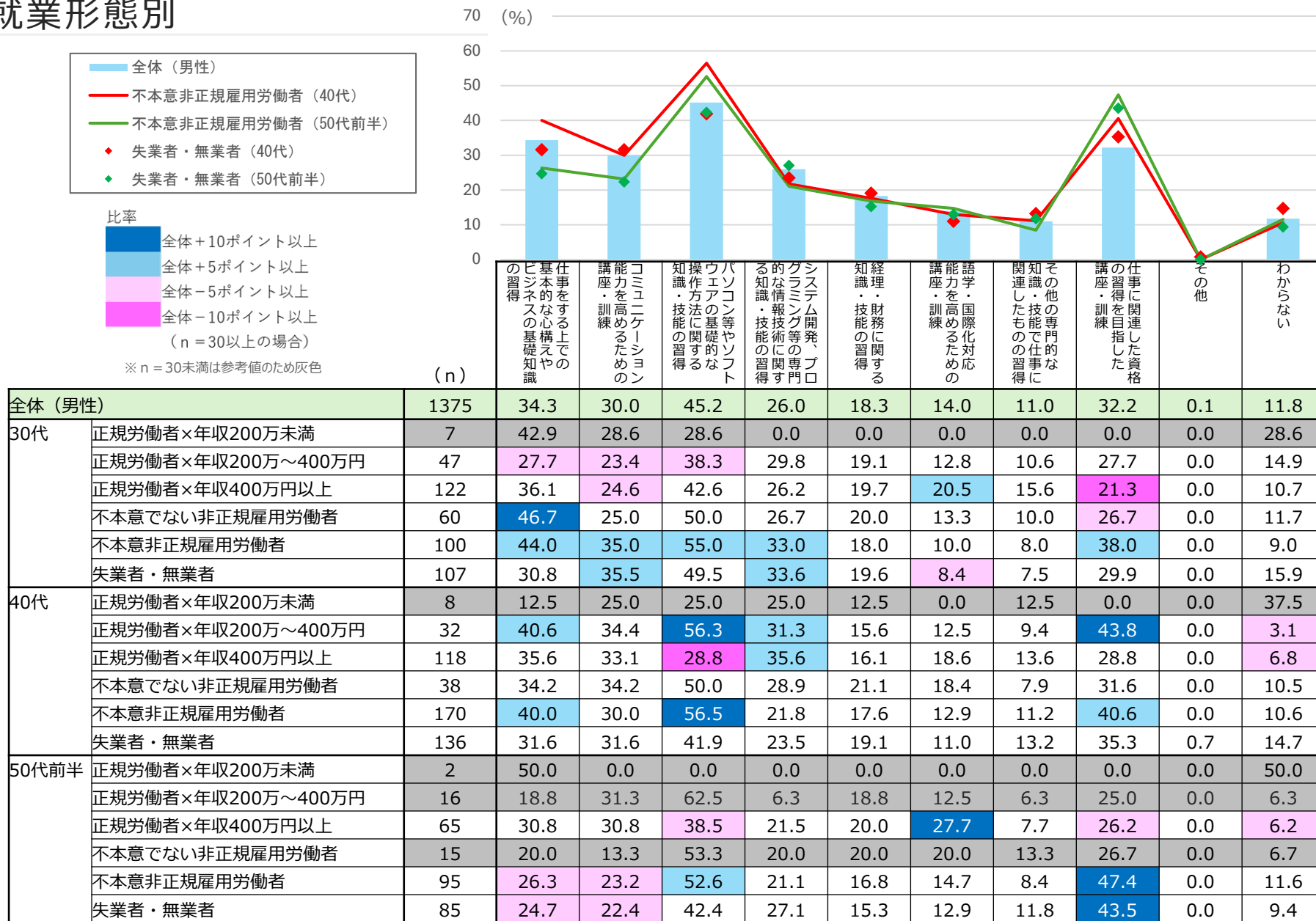
（年代別）

- 年代が上がるにつれて、「仕事に関連した資格の習得を目指した講座・訓練」のニーズが高まる傾向にある。

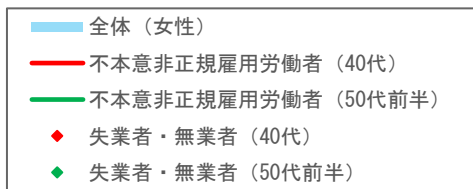
（含意）

- 就職氷河期世代の属性別に、抱えている課題やこれまでの経験等の違いも踏まえて、習得したいと思う知識・技術等が異なるため、就業形態や性別・年代別のニーズに沿った講座・訓練等を届けることが必要である。

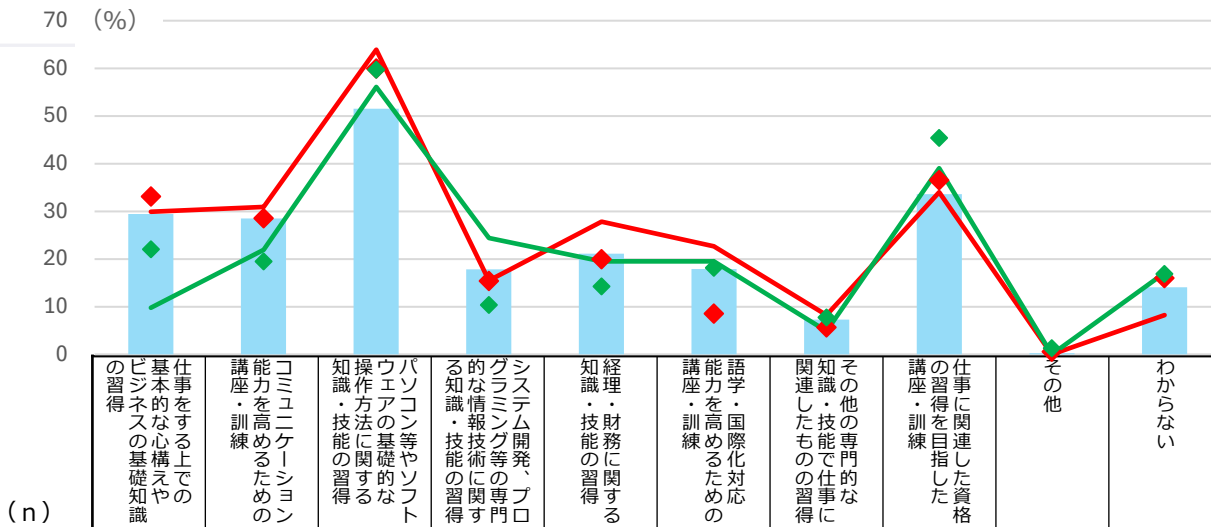
習得したいと思う知識・技術等の具体的な内容 男性の就業形態別



習得したいと思う知識・技術等の具体的な内容 女性の就業形態別



※ n = 30未満は参考値のため灰色



		(n)	の習得	基本的な心構えやビジネスの基礎知識	仕事をする上で必要な能力を高めるための講座・訓練	コミュニケーション能力を高めるための講座・訓練	操作・技術の習得	パソコン等やソフトウェアの基礎的な知識・技術の習得	システム開発、プログラミング等の専門的な情報技術に関する知識・技術の習得	経理・財務に関する知識・技術の習得	講座・訓練	語学・国際化対応の能力を高めるための講座・訓練	その他の専門的な知識・技能で仕事に関連したものの習得	その他の専門的な知識・技能で仕事に関連した資格の習得を指した講座・訓練	その他	わからない
全体（女性）		1662	29.4	28.5	51.6	17.8	21.1	17.9	7.3	33.6	0.2	14.1				
30代	正規労働者×年収200万未満	24	33.3	29.2	54.2	25.0	16.7	25.0	4.2	12.5	0.0	20.8				
	正規労働者×年収200万～400万円	78	24.4	25.6	53.8	29.5	35.9	23.1	9.0	29.5	0.0	7.7				
	正規労働者×年収400万円以上	79	40.5	27.8	31.6	21.5	16.5	34.2	8.9	17.7	0.0	6.3				
	不本意でない非正規雇用労働者	109	28.4	28.4	56.9	12.8	15.6	14.7	5.5	35.8	0.0	14.7				
	不本意非正規雇用労働者	183	30.6	30.6	53.0	20.2	25.1	15.3	7.7	38.3	0.0	13.1				
	失業者・無業者	191	35.1	33.5	50.8	17.3	16.8	16.8	7.9	33.5	0.5	19.4				
40代	正規労働者×年収200万未満	20	25.0	5.0	30.0	20.0	30.0	10.0	5.0	30.0	0.0	15.0				
	正規労働者×年収200万～400万円	71	16.9	35.2	43.7	18.3	31.0	26.8	11.3	22.5	0.0	11.3				
	正規労働者×年収400万円以上	74	27.0	25.7	45.9	18.9	25.7	21.6	17.6	41.9	0.0	8.1				
	不本意でない非正規雇用労働者	82	23.2	19.5	54.9	17.1	17.1	19.5	6.1	41.5	0.0	9.8				
	不本意非正規雇用労働者	97	29.9	30.9	63.9	15.5	27.8	22.7	8.2	34.0	0.0	8.2				
	失業者・無業者	175	33.1	28.6	60.0	15.4	20.0	8.6	5.7	36.6	0.6	16.0				
50代前半	正規労働者×年収200万未満	4	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0				
	正規労働者×年収200万～400万円	23	8.7	26.1	69.6	17.4	47.8	13.0	8.7	34.8	0.0	4.3				
	正規労働者×年収400万円以上	34	20.6	17.6	47.1	20.6	38.2	32.4	8.8	38.2	0.0	8.8				
	不本意でない非正規雇用労働者	32	15.6	21.9	56.3	9.4	18.8	15.6	3.1	46.9	0.0	12.5				
	不本意非正規雇用労働者	41	9.8	22.0	56.1	24.4	19.5	19.5	4.9	39.0	0.0	17.1				
	失業者・無業者	77	22.1	19.5	59.7	10.4	14.3	18.2	7.8	45.5	1.3	16.9				



Partnering for your best decisions
すべては、お客様の最良の決断のために

ご注意

※この資料の無断複写、複製、ノウハウの使用、企業秘密の開示などは一切禁じられています。
お取り扱いには十分にお気をつけください。

